

2025年信徒聖書講座
ディボーシヨン(再)入門
～みことばを口ずさむ人になろう～

第5回 10月26日(日)

講座日程と概要

9月21日(日) 第1回 なぜディボーション？ (聖書読みスタート)

9月28日(日) 第2回 なぜみことば？ (分ち合いスタート)

10月5日(日) 第3回 みことばを口ずさむ

10月12日(日) 第4回 なぜ祈る？

10月19日(日)お休み

10月26日(日)第5回 イエス・キリストの模範

11月2日(日) 第6回 ディボーションと分ち合い

11月9日(日) 第7回 静まりと振り返り

11月16日(日) 第8回 ディボーション・グループの始め方・持ち方

◆10月27日(月)から、箴言を読み始めます！

ディボーション～キリストの模範

►マルコの福音書1:35～39

文脈を知るために29節から読みましょう。

►ルカの福音書4:42～44

※ルカの福音書・・・イエスの祈りや祈りについての教え・たとえが多く記録されている「祈り」の福音書

►これらの聖書箇所から、どんなことを教えられる？

キリストの模範から教えられること

1. 祈ることの大切さ。「そこで祈つておられた」

- 忙しさの中でも、祈る時間を確保

► ルカ6:12 「そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈りながら夜を明かされた。」

- 祈りは、神と過ごす時間

- 周りの人にも知られていた。

► ルカ11:1 「さて、イエスはある場所で祈つておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに言った。『主よ。ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えてください。』」

キリストの模範から教えられること

2. 祈る時と場所にこだわること

「朝早く、まだ暗いうちに起きて、寂しいところに出かけて行き」

- 祈る時
- 祈る場所

- 絶対に朝早く、寂しいところで、というわけではなく、
- より集中できる時と場所を。
- (そのためには) より邪魔が入らない時と場所を。
- 忘れないで！ ディボーションとは「集中して獻げること」

キリストの模範から教えられること

3. 祈りのうちに、神の導きを求め、受けのこと

- ▶ルカ4:42「イエスが自分たちから離れて行かないように、引き止めておこうとした」　人のニーズ、期待、要望があった。
- それに対して、イエスは「NO！」
- ▶ルカ4:43「しかしイエスは、彼らにこう言われた。『ほかの町々にも、神の国の福音を宣べ伝えなければなりません。わたしはそのために遣わされたのですから。』」
- 神と過ごす時間は、一日に備えるためのもので、祈りのうちに自分の使命や優先順位、神のみ心の確認をしていた。
- People Pleaser？ それとも God Pleaser？

キリストの模範から教えられること

4. 祈りのうちに、神の力を求め、受け取ること

►マルコ5:30「イエスも、自分のうちから力が出て行ったことにすぐ気がつき」

●忙しく、注ぎだす毎日を送っておられたイエス

●神と共に過ごす時間は、、、

*疲れを癒され、心も体も回復される時

*リフレッシュされ、力を充電される時

►イザヤ40:31「しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷺のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れない。」

●インマヌエル讃美歌31『神はわが力』4節の歌詞

「みことばの水は 疲れを癒して 新たなるいのち 与えて尽きせじ」

キリストの模範から教えられること

5. ひとりの時間が、公けの時間の土台

ひとりの時間(Private Life) vs 公けの時間(Public Life)

- 静まる(休息) 時
- 自分(の必要)のため
- (恵み、力を)受ける時
- み心を求める時
- 神に仕える時
- みことばを受けとめる
- 働く時
- 他の人(の必要)のため
- 与える時
- み心を行う時
- 人に仕える時
- みことばを生きる

キリストの模範から教えられること

6. 忙しさは、祈る時間を取りれない理由にはならない。

- ルター「私は余りにも忙しくて、3時間は祈らないとやっていけない」
3時間も祈れない!! と思うのは当然。ですが、大切なことは、
忙しさは、祈りへのきっかけとなり得る、ということ。
- 祈りは、神により頼んで生きていることの証拠・・・
何をもって自分は神により頼んで生きていると言えるか?
→神との時間を持っているか。「祈りとみことば無しでは生きていけない！」
- ▶インマヌエル讃美歌150番『けさ主のみまえに』
折り返しの歌詞 「祈りは心のうれいを除く、疲れしおりこそ、祈れかし」

最後に、 、 、 大祭司イエスを覚えて

- ▶ヘブル人への手紙7:25 「イエスは、いつも生きていて、彼らのために
とりなしをおられるので、ご自分によって神に近づく人々を完全
に救うことがおできになります。」
- ▶ヨハネの手紙第一 2:1 「もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、
御父の前でとりなしてくださる方、義なるイエス・キリストが
おられます。」
- ▶ルカ22:32 「わたしはあなたのために、あなたの信仰がなくならない
ように祈りました。」